

NPO鳴門「第九」を歌う会だより

“友よ”

リーバー フロイント

Lieber Freund

発行：NPO法人 鳴門「第九」を歌う会事務局

TEL 088-686-9999 FAX 088-686-9994

http://www.tv-naruto.ne.jp/daiku/ E-mail: naruto_daiku@yahoo.co.jp

vol.13

2013年6月30日発行



海外からの指揮者を迎え、自由と愛の交響曲、高らかに

「第九アジア初演の地に高らかに響け！ 自由と愛の交響曲」——第32回「第九」交響曲演奏会のプログラムに、副題として掲げられたメッセージです。

舞台に勢揃いした646名(県内190名、北海道から鹿児島まで県外36団体・456名)の合唱団員と84名のオーケストラ、オーディションで選ばれた4名のソリスト、アメリカ・ロサンゼルス州パサデナからはるばる来日された指揮者バーンスタイン氏によって、満席のお客様に届けられた自由と愛の交響曲は、文化会館を感動の渦に巻き込んで、無事終了いたしました。

バーンスタイン氏は、本番の一週間も前に来鳴され、鳴門の合唱団員にきめ細かな指導をされました。特に《alle Menschen werden Brüder, wo dein sanfter Flügel weilt. (柔らかい翼の留まるところ、すべての人々は兄弟となる)》の部分にあたたく優しく歌う方法を繰り返しご指導いただいたことがとても印象深かったと団員の方からお聞きしました。

合間には、鳴門一中、大麻中の若き合唱部員への指導にも出向かれ、合唱の素晴らしさを伝えて下さいました。

そして、この大舞台での成功の陰に、「鳴門第九」をこよなく愛し、支えてくださる大勢のボランティアの皆様、資金面で応援して下さいる賛助会員の方々、観客席を埋めつくして大拍手を送ってくださる皆様…これらの大きな力が「鳴門第九」の力となって32回の歩みを続けることが出来たことに心より感謝申し上げます。

6月3日(月)の大塚国際美術館での第3回【美術館で「なるとの第九」】にも県内70名、県外16団体200名の方が出演され、合唱やソリストによるアリア、「第九」を披露して下さいました。ここでも立ち見の出る大勢のお客様の前で、名画をバックに歌えた喜びを感じていただけたものと思います。「西洋アートを楽しむ一日」と銘打って千円の低額で開館され、平成17年に始まってより9年目となる「西洋名画と音楽の饗宴!」の行事も大好評で、大塚国際美術館様のご協力に心よりお礼申し上げます。

「鳴門第九」は、いよいよ「初演より百年」の2018年に向かって歩みを始めました。

泉 理彦鳴門市長様が、「…百周年を契機に第九を愛する皆様とともに、“なるとの第九”のブランド価値をさらに高め、鳴門市にしか出せない魅力を形作っていけるように…」と心強いお言葉をいただいております。良いアイデアがありましたら、どなたからでもどしどしご提言いただき、素晴らしい百周年となりますように祈っています。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、永年徳島交響楽団の会長として敏腕をふるわれた井形高明様が、6月1日にご病気のため亡くなりました。関係の皆様とともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(NPO法人 鳴門「第九」を歌う会

理事長 大塚 道子)

海外からの参加者49人に加え、今年は指揮者もアメリカから——。
初演百年を間近に迎え、鳴門の第九もいよいよ国際的になってきました。
世界に向けてメッセージを発信する、そんなツールに「鳴門の第九」がなればいいですね。

心に残るジェフリーさんとの第九



L.A.Daikuとのつながりが縁で叶ったジェフリー・バーンスタインさんとの共演ですが、物理的な距離、言葉の問題など最初是不安もありました。しかし、ひとたびレッスンが始まれば、巧みなタクトはもちろん、豊かな顔の表情、「ニヒャクサンジュウ」など時折日本語を交えたレッスンに引き込まれ、いつの間にか合唱団があたたかな空気に包まれていました。「音楽は世界の共通語」を実感したひとときでした。

約650名の大合唱団から、心震えるようなやわらかな音色を引き出してくれたジェフリーさん。繰り返しおっしゃっていた「イッショニ!」という指示が、美しい音色とともに今も心に残っています。

第九演奏会の躍動感に感服

阿南市 横手 遼さん

日米の646人が歌声を響かせた先日の第九演奏会。友人と列車を乗り継ぎ、鳴門まで行った。シャッター街を通る道すがら「梅雨空を吹き飛ばすような感動があるだろうか」と話しながら会場前に到着すると、入口に人波ができていた。予定より早めの入場となったが、座席はすぐ満席になった。

米国人初の指揮で“ひと味違う”第九の会になるとの新聞報道もあり、期待していた。パンフレットを眺めながら待つこと数十分、音楽会独特の雰囲気の中で開演となった。指揮者のジェフリー・バーンスタインさん。東日本大震災の鎮魂曲を指揮し、日本に理解のある人と聞いていた。

水を打ったようにシーンとした瞬間、中央演台から指揮者のタクトが振り下ろされ、演奏が始まった。約一時間後、交響曲第九番のクライマックスが訪れた。出演者全員が立ち上がり、一糸乱れぬ歌声で歓喜の歌の大合唱が会場内に響き渡った。私は思わず身震いし感極まった。

神経を集中させた指揮者のタクトに注目が集まるのは自然の流れ。指先から足元まで全身を使い、その躍動感に感服するとともに、出演者、交響楽団が一体となって歌い上げた第九に「ブラボー」の言葉が飛び出し、歓声と拍手が鳴りやまなかった。来年の演奏会も期待したい。

(徳島新聞 読者の手紙より ※ご本人の了承を得て転載)

鳴門の第九の盟友・徳島交響楽団の下山事務局長さん、今年の第九はいかがでしたか？

第32回ベートーヴェン第九交響曲演奏会のご盛会、誠にありがとうございます。心よりお慶び申し上げます。私は、徳島交響楽団のビオラ弾きで、この演奏会には第1回から参加しています。「第九」とは三十年来のおつきあいとなりますが、今回の演奏会は、特に心に残るすばらしい演奏会のひとつとなりました。

それは、指揮者のバーンスタイン氏のすばらしい音楽に出会えたことです。このたび幸運にも全日本「第九を歌う会」連合会様と徳島交響楽団のために書き下ろされた「Dreams of Japan」を世界初演する機会に恵まれました。この曲には、アメリカ人であるバーンスタイン氏が日本人以上に繊細な感覚で見て感じた風景や詩情が

紡がれています。「ニッポン」の伝統的な原風景と和の精神が感じとられます。昇る太陽・お茶の風情・境内の厳かな雰囲気などが数々のオーケストラの楽器に託されており、お客様も演奏している私たちも自然にこの曲の中へ入り込んでいったのではないのでしょうか。

これから初演百周年に向けて、鳴門「第九」を歌う会の皆様は、たゆまない日々のアプローチを重ねてこの日本の「第九」、世界の「Daiku」をリードしていくことと思います。皆様の不断の努力に大いに敬意を表し、私たちも初演の地のオーケストラとしての誇りを持って精進し、その精神を次の世代に受け継いでいきたいと思います。これからもよろしくお願いします。



穏やかで実直な人柄は、ビオラの音色そのもの。オケ団員からの信頼も厚い下山貴司事務局長さん。奥さまも同じビオラ弾きで、演奏会では肩を並べて演奏しているんですよ。

美術館でDAIKU、今年も華やかに

三年目となる大塚国際美術館での第九は立ち見が出るほどの盛況ぶり。むつ下北第九の会による楽しい男声合唱、ジェフリーさん率いるL.A.Daikuとパサデナ・マスターコラルの美しいハーモニー、そして私達鳴門「第九」を歌う会も、未来への思いを込めて「花は咲く」ほかを歌い上げました。



第2部は4人のソリストが登場。

歌曲やオペラアリアに続いて、4人でオペラ「リゴレット」の一場面を演じてくださり、見事なアンサンブルに思わずため息。そして演奏会の最後は200名の合唱団による第九。昨日の演奏会の感動を再び！と、ジェフリーさんの指揮に寄り添って歌いました。



4人の声が絡み合うぜいたくな四重唱

第九演奏会に並ぶ鳴門の一大イベントに育てていきたいですね。

今年も盛況だった第九ワークショップ



ドイツ村公園の慰霊碑前で記念撮影。俘虜たちのお墓にも祈りを捧げました

第11回目となる今年は、テーマⅠ「第九のマネージメント（運営課題）」に15人、テーマⅡ「第九文化のこれから」に32人、テーマⅢ「現地研修：『第九』アジア初演を巡るツアー」に49人の合計96人の方々が参加し、平成24年度の60人を超えて過去最大の参加人数となりました。

特にテーマⅢの現地研修は昨年のリピーターも多く参加し、盛況となりました。去年はスケジュールの関係で行けなかった、ドイツ村公園やドイツ兵捕虜のお墓を訪れ、ドイツ館の川上館長から板東俘虜収容所とアジア初演となった第九演奏会の関係や収容所内での活動について講演いただきました。

ドイツ兵捕虜合同慰霊碑の前で記念写真を撮った後は、ベートーヴェン像とドイツ館を訪れ、ドイツ兵捕虜と収容所職員や地元民との心温まる交流の歴史、第九アジア初演のルーツについて説明を受け、参加者は大満足で文化会館に戻りました。

来年のワークショップもみんなで参加して盛り上げましょう！

広報部記者は用意！

舞台の裏側もくまなくチェック！



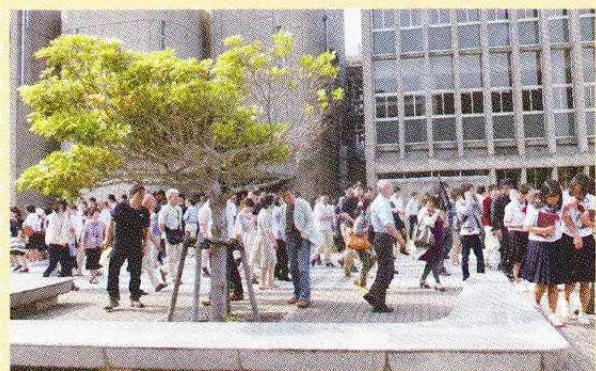
カウントダウン
650名の合唱団を安全に舞台に乗せるため、担当者は頭を悩ませました。陶板撮影用の座席表も合わせて作成しなければならぬので、その苦労たるや……。前日まで苦悩は続きました。



心のチューニング
合唱指導の頃安先生。指導だけでなく、体と声のメンテナンス、そして、本番前には団員の心のチューニングまでしてくれます。

第九グッズ

第九Tシャツにレッスンバッグ、ハンカチ……ラインナップが増えてきました。なかには、Tシャツ全色揃えられてる方もいるとか。さてさて、来年の企画は？ 皆さまのアイデア、お待ちしております！



避難訓練実施
不測の災害にも対応できるように、今年は避難訓練を実施しました。皆さん、ご協力ありがとうございました。

物産展也大賑わい

ドイツ軒のパンにワカメ、ドイツワインなど充実の物産展。今年は音楽グッズが人気でした。おや！ジェフリーさんの姿も見えます。おみやげ、買えたかな？



友情の桜島大根

全日本「第九」を歌う会連合会創立25周年を記念して、かごしま第九を歌う会・重久会長より贈呈された桜島大根。どのように育てるのだろうかと四苦八苦でしたが、3月、見事に白い花が咲きました。

活動の記録

第九を通した音楽文化の普及、地域や全国の仲間との交流も私たちの大事な活動です。今年の活動の中から主なものをご紹介します。

その他行事

県内研修

❖平成24年度総会 & 研修会

2012. 7/22 於：鳴門市ドイツ館
総会の後は、箏演奏家の遠藤綾子さん、そして高校生ながら数々のコンクールで輝かしい成績を修められている遠藤咲季子さんを招き、「箏の調べ 古典箏曲から現在箏曲」と題した研修会を行いました。八橋検校や宮城道雄の作品から、現代的な沢井忠夫の作品まで、普段あまりふれることのない邦楽の雅な世界に、しばし浸りました。

遠藤さん母娘は、第2回里帰りコンサートにご一緒し、鳴門第九にも縁が深いのですよね。咲季子さんの成長ぶりを目の当たりにし、感慨深いものを感じました。

❖第九の響宴 ～日本語の「第九」

2013. 2/17 於：鳴門市ドイツ館

5回にわたって開催された講座「第九を学ぼう」の締めくくりとして、「第九」をテーマにさまざまなジャンルの人々が集って「第九の響宴」が開催



されました。ゆたか保育園、みやま保育園の子ども達による愛らしい演奏、鳴門教育大学創作ダンス部の躍動感あふれる演技、そして日本語による第九でフィナーレを飾りました。

指揮：山田啓明、ソプラノ：井上ゆかり、アルト：戸邊祐子、テノール：市岡雅明、バリトン：北村僚真、ピアノ：平賀理絵

県外研修

❖2012「かがわ第九」演奏会に参加

2012. 10/7 於：香川県高松市・アルファあなぶきホール

❖むつ下北第九の会

「第2回復興支援コンサート」に参加

2012. 12/9 於：青森県・下北文化会館大ホール

平成24年12月9日、下北第九の会に参加しました。指揮者、ソリスト、吹奏楽等すべて青森県人で構成され、和気あいあいの人間関係と地元の震災復興への意気込みを感じた素晴らしい演奏会でした。

演奏会後の交流会では、まぐろの解体ショーや鏡割りのおもてなしで大変歓迎を受けました。今後共、下北、会津、鳴門の絆を大切にしていきたいと思います。

(鳴門「第九」を歌う会
金下 澄代)



❖シンポジウム「第九」アジア初演100周年に向けて

2013. 3/13 於：鳴門市老人福祉センター 大会議室

2018年の初演百年に向け、各方面から有識者を迎えてシンポジウム「ドイツ兵俘虜による『第九』アジア初演と未来への希望」を開催。

コーディネーター：頃安利秀（鳴門教育大学教授）

パネリスト：泉 理彦（全日本「第九を歌う会」連合会会長・鳴門市長）、亀井俊明（同会 名誉会長／鳴門）、村津忠久（同会 副会長／大分）、高橋隆子（同会 副会長／釧路）、藤野芳孝（むつ下北第九の会事務局局長／青森） ※敬称略

コーラス9

❖第九の里コンサート 2012. 7/29 於：鳴門市ドイツ館
「あすという日が」「海よ空よ山よ風よ」「第九」ほかを歌いました。
指揮：大井美弥子 ピアノ：平賀理絵

❖ドイチェス・フェスト in なると 2012. 10/28 於：鳴門市ドイツ館

❖第27回国民文化祭とくしま2012 市町村連携コンサート「まちが奏でるクラシック in 鳴門市」

2012. 11/7 於：鳴門市文化会館

合唱団なると、合唱団アンダンテ、メールハーモニー潮の皆さんとともに、国民文化祭行事に参加。増井信貴さんの指揮、とくしま記念オーケストラ、鳴門市第一中学校吹奏楽部の伴奏で「祖谷のかずら橋」「あすという日が」を歌いました。



1年ぶりに演奏会を開きます♪ Chorus9

2012年は国民文化祭行事参加のため、演奏会をお休み。さあ、じゃあ、2年分歌おうじゃありませんか！今年のコーラス9演奏会は、2014年3月2日。たっぷり期間があるので、いつものミサに加え、日本の歌のステージを持ちたいと考えています。既に6月から大井美弥子先生の指導で、充実した練習が始まっています。いっしょに参加しませんか？

..... コーラス9演奏会

2014. 3/2(日) 14:00～(予定) 於：鳴門市ドイツ館
問合せは浅野 ☎088-686-1296

こちら広報部

●演奏会が終わってほっとひと息……といきたいところですが、今度は記念陶板の制作です。来春完成の予定ですので、楽しみにお待ちください。

●交流会のトリは阿波おどり。アメリカからのお客様もソリストも浮かれて踊る姿に確信しました。「音楽と阿波おどりは世界の共通語」だと。(広報委員一同)